

茅ヶ崎セントラルクリニック

川島 希望 (管理栄養士 / 栄養科)

功 績 今年度の個人目標であった「透析患者さんがコンビニで食事をとるなら」小冊子の作成を通じて、外部医療機関の管理栄養士とSNSで独自につながり、人脈を構築したことにより、一般出版物の発行に繋がった功績。

推 薦 者 若林陽盛

推 薦 理 由 自らが課した課題に対して愚直に集中して行うこと、自らが動いて人脈を作り、新たな取り組みに派生させたこと、結果として茅ヶ崎セントラルクリニックの広報に大きく寄与したことは健育会グループの職員としての模範的な行動であると考え、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

前回、コンビニの透析食事療法を独自に展開し、冊子の作成に勤しんでいた川島は、自分自身の中でだけで工夫を重ねることが難しいことに気づき、本人が得意としているX (旧Twitter) を活用し、他施設の管理栄養士と繋がることで知見を増やしていきました。

その過程の中でT大学の准教授と繋がることができました。准教授にコンビニの食事の特徴や、現在の透析業界における栄養の考え方などのディスカッションをネット上でする中、川島の熱意に准教授が感銘を受け、「12月に発売される『ナースができる!透析患者にピッタリな食事指導』という雑誌に具体的なモデルメニューと食事選びのポイントなどを執筆してみないか?」という打診を受けました。

専門誌への執筆が初めてだった川島も突然のオファーに戸惑いながらも、何度も何度も推敲を重ね、10月に入稿、この度12月に無事発売されることが決定し、つい先日、サンプル本が届きました。

茅ヶ崎セントラルクリニックの管理栄養士としては初、全国流通の専門誌に執筆する実績を残すことができ、本人の大きな自信につながる結果となりました。また、当該専門誌は東京医療保健大学や佐賀大学医学部付属病院、京都の桃仁会病院など名だたる透析施設が連なっており、その中に茅ヶ崎セントラルクリニックの名前を刻むことが出来ました。